

Table of contents

はじめに	3
テンプレートの説明	3
実行方法	3
bookdown 版でとてもお世話になったサイト	4
概要	4
本書の特徴	4
想定読者	4
各章の紹介	4
執筆環境	5
R および RStudio、パッケージのバージョン	5
注意事項など	5
ライセンス	5
関連情報	5
 第 I 部 前半	 7
 第 1 章 設定	 11
1.1 マークダウンの書式など	11
1.1.1 セクションへのリンク	11
1.2 ggplot	12
1.3 日本語	12

第 II 部 後半	13
-----------	----

第 2 章 注意事項	17
------------	----

はじめに

- 本 web サイトは、にて頒布した書名のオンラインバージョン
- こちらは随時 update されていく予定

[illegible]

テンプレートの説明

- Quarto で同人誌の原稿を書くためのテンプレート
 - bookdown パッケージで R Markdown で書く解説はこちら
- Render Book すれば html と pdf がそのままできる
 - pdf は目次から始まり、ページ番号が 1 から始まる

実行方法

- Build タブで
 - Render Book > HTML Format
 - Render Book > PDF Format

bookdown 版でとてもお世話になったサイト

- [Bookdown](#) による技術系同人誌執筆

概要

- 本書の目的
 - 説明
- 本書の内容
 - 説明
- 執筆動機
 - 説明
- 今後の展望
 -
- 本書の内容は、[github](#) レポジトリですべて公開

本書の特徴

- 本書の強み
 -

想定読者

- R と RStudio をダウンロードして PC にインストールまでできることが最低条件

各章の紹介

- -Chapter [1](#) 章では

ind	values
version	R version 4.3.0 (2023-04-21 ucrt)
os	Windows 10 x64 (build 19045)
system	x86_64, mingw32
date	2023-11-13

package	loadedversion
tidyverse	2.0.0

執筆環境

- 本書は[Quarto](#)にて執筆

R および RStudio、パッケージのバージョン

- rstudio だけなぜか表示されないので手動で...
 - バージョン 2022.02.1+461 Prairie Trillium (desktop)

注意事項など

- 本書の内容はすべて windows 環境を想定しています。
- この本に書いてある内容は、筆者が学習したことをまとめているものにすぎないため、正常な動作の保証はできません。使用する際は、自己責任でお願いします。

ライセンス

関連情報

日本語表示

第 I 部

前半

前半が始まるよ

第 1 章

設定

```
library(tidyverse)
```

1.1 マークダウンの書式など

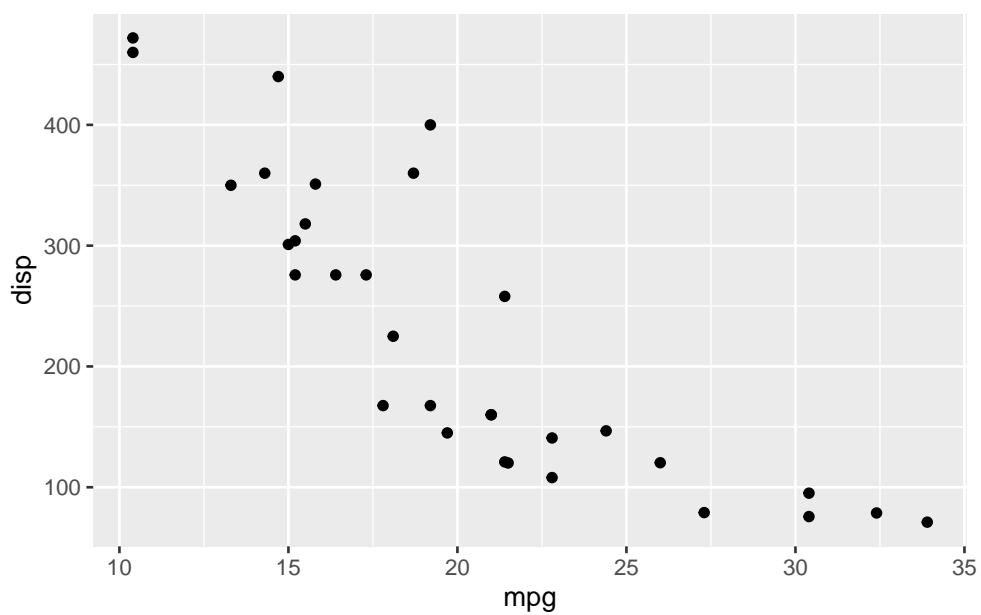
1.1.1 セクションへのリンク

見え方	コード
Chapter 2	<code>[@sec-caution]</code>
セクション 2	<code>[セクション -@sec-caution]</code>
2	<code>[-@sec-caution]</code>
2章	<code>[-@sec-caution] 章</code>
2	<code>[-@sec-caution 章]</code>
注意事項	<code>[注意事項] (#sec-caution)</code>

-
- 文字列のリンク →
- 記述法:

1.2 ggplot

```
ggplot(mtcars) +  
  geom_point(aes(mpg, disp))
```



1.3 日本語

第Ⅱ部

後半

後半が始まるよ

第 2 章

注意事項

- 奇数ページだと 1 ページ白紙になるので，偶数ページにしないとだめ
- 前半，後半部分は，PDF として作成するときはページ数増えるので不要かも

著者：著者名
発行：2019 年 11 月 18 日
サークル名：サークル名
連絡先：メールアドレス
印刷：印刷所名